

ぎかい TIMES

令和7年9月1日発行 No.78



CONTENTS

まちへの思いと未来へのビジョン

旭市は、平成17年7月1日に旭市・海上町・飯岡町・干潟町が合併して誕生した。旭という名前は、室町幕府滅亡後、当地を治めていた戦国武将・木曾義昌（朝日将軍・木曾義仲の19代子孫）は善政をしき、領民に慕われた。時は過ぎ1852年、京都の歌人・野々口隆正が当地を訪れ「信濃より いづる旭をしたひ来て 東のくにに 跡とどめけむ」と、義昌公を偲んだ歌を詠み、これにちなんだとされている。また将来、旭日昇天のような勢いをもって発展することを願ったことが「旭」の名前の由来との資料も残されている。



飯嶋 正利 議長

合併以来、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症などにより社会生活は大きく変化しましたが、市民一人ひとりの努力と情熱で市制20周年を迎えることができました。これからも変わらぬ情熱で次代を担う子どもたちが誇れるまちとして、市民の皆様と更なる発展を実現しましょう。



片桐 文夫 副議長

市制20周年の記念すべき日、郷土を愛した先輩たちの歩みと市民の力に改めて敬意を表します。前向きな変革と創意工夫で未来を描き、全ての人が笑顔で暮らせるまちづくりに邁進する所存です。未来を照らす希望の灯火とともに、一致団結して新たな時代を築く情熱を燃やし続けます。



木内 欽市 議員

一度は「旭」を離れた人も、生まれ育った所に戻ってこられる、戻りたいと思う、そんな故郷「旭」を守り創っていきたく、いつも思っております。



景山 岩三郎 議員

市制施行20周年を迎え、これまで歴史を紡いできた市民の努力と地域の絆に敬意を表すると共に、改めて心より感謝申し上げます。伝統と革新が交わる未来を次世代へつなげ、新たな希望の光が安心して歩める、平和へ続く道が広がることを願ひ続けます。



向後 悦世 議員

旭市は、平成17年7月1日に旭市、海上町、飯岡町、干潟町の1市3町の合併により誕生し、本年、市制施行20周年を迎えます。旭市が積み重ねてきた歴史を再確認し、市への愛着や誇りを更に深め、皆さんと共に将来を展望し、更なる発展の契機となる事業の実施をしていきます。



伊藤 房代 議員

市制20周年を迎え、地域に刻まれた歴史と日々尽力されてきた市民の皆様へ心から感謝申し上げます。

生まれ育ったわがまちで、いまこうして迎えられる事に感動と喜びで一杯です。これからも皆様と共に、互いに協力し合い、さらなる発展を目指し頑張ってまいります。



宮澤 芳雄 議員

中学校の部活動が地域移行される。私達の世代は地域の人々に育てられた。子どもたちと地域とのふれあいの少ない今、地域ぐるみで部活動の支援をしたい。やがて中学生たちが逞しく成長して、これからの地域に貢献してくれることを願う。改めてこれまでの教師の努力に感謝したい。



宮内 保 議員

市制施行20周年という大切な節目に、地域社会の歩みと市民一人ひとりの心温まる支援に改めて深い敬意を表します。

まちへの深い愛情を胸に、これまで地域に根付いた歴史と伝統文化を守り、平穩で明るい未来への歩みが続くよう祈念いたします。



林 晴道 議員

改めて、この地域を創っていただきました、先人たちに感謝するとともに、新たな希望と期待に応えるべく「ここで一所懸命！」凛とした姿勢で挑んで参ります。僕は「日本のド真ん中で輝く希望にあふれ活力ある地域を創る！」この大きな夢に向かって、笑顔で元気に活動して参ります。



遠藤 保明 議員

市制20周年の節目にあたり、これまで本市の発展にご尽力された皆様へ感謝の意を表します。豊かな暮らしと産業の発展を思い、確固たる決意のもと、さらなる繁栄と幸福を創出する所存です。誰もが住みよい街を目指し、市民一人ひとりが希望を胸に生きがいを持てるよう邁進します。



島田 恒 議員

市制20周年という節目に、地域を支えてこられた先人のご尽力に感謝をこめて、そして新たな時代を切り開く若者たちにエールを送ります。

これからの旭市が希望と活力にあふれ、未来へ力強く豊かに発展することを心から願っています。ともに歩み続ける明日に期待を込めて。



井田 孝 議員

市制20周年を迎えるにあたり、地域の歴史と市民の皆さま一人ひとりの暖かな支えに心より感謝を申し上げます。

未来への挑戦と可能性を胸に更なる繁栄を期待いたします。また、10年20年先も安定した未来へ歩んでいくことを祈念いたします。





永井 孝佳 議員

旭市が合併して、今年で20年という節目を迎えました。私たちは、さまざまな困難を乗り越えてきました。津波や台風、少子高齢化、地域の産業の変化…。それでも私たちは、土地に根ざし、知恵を寄せ合い、笑顔で歩みを進めてきました。海とともに生き、畑を耕し、命を… 以下略



崎山 華英 議員

市制20周年、これまでの市民の皆様のご尽力に深く感謝いたします。20年前は高校一年生だった私も、いまは母となり子を育てています。また20年後、子どもたちが大人になったときに、ずっとこのまちで暮らしていきたいと思える旭市を目指して、皆様と一緒に歩んでまいります。



平山 清海 議員

市制20周年おめでとうございます。20年後、30年後、私どもの子や孫が安心して働ける町づくり、旭市に生まれ住んでよかったと思う町づくり、誰もが生きがいを持てる町づくり、安全、安心で暮らしやすい町づくりを目指し、願っております。



伊場 哲也 議員

旭市制施行20周年の佳節を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。これからの更なる飛躍には希望や夢を確実に未来へとつなぐ努力が必要です。是非の立場を貫き、皆様とともに安心と誇りを実感できるまち「旭」の実現に全力を尽くして参ります。



菅谷 道晴 議員

旭市誕生20周年、おめでとうございます！
長きにわたり、この地域を支え、発展させてきた皆様の功績に心より敬意を表します。これからも、地域の皆様にとってより良い未来を築くために、共に力を合わせて邁進していきましょう。



伊藤 春美 議員

これまでの歩みと市民の皆様のため努力に敬意を表します。四季折々の豊かな恵み、共生によって育まれた温もりと心豊かな営み。これら五感で味わうことのできる魅力は、未来につなげていきたい財産です。今後も中立的な姿勢を堅持し、平和で希望ある未来を築いてまいります。



常世田正樹 議員

市制施行20周年おめでとうございます。日本一住みよいまちを目指して歩み続けてきた市民の努力、多様な地域が手を携え、一丸となって発展に尽力されてきたことに深い敬意と感謝を申し上げます。議員として市民の声をより一層、大切にし、誰もが誇れる旭市の実現に尽力します。



旭市20周年



市長提出議案

- 予算案件 …………… 1件
- 条例案件 …………… 6件
- 人事案件 …………… 1件
- その他案件 …………… 3件

この定例会には、令和7年度一般会計補正予算、条例の一部改正、財産の取得など11議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意・承認されました。
質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。QRコードを読み取ると議案質疑の録画映像をご覧いただけます。



議案
第1号

令和7年度 旭市一般会計補正予算

県の補助を活用して、防犯カメラを増設

当初予算で防犯カメラ2台分を計上していたが、県が防犯力強化緊急支援事業費補助金を創設したため、補助を活用し8台、市単独で2台の計10台分を追加計上する。

問 車両や農作物の盗難、不審者の目撃情報などが頻繁に報告されているが、設置場所の選定基準について伺う。

答 旭市防犯カメラの設置及び運用に関する要綱に基づき、施設を所管する課が必要に応じて設置をしている。

問 設置場所に関する基準がなく、必要に応じて設置することだが、地域住民からの設置に対する要望に配慮しているのか伺う。

答 公共施設などのカメラ設置については、利用者の方の声を聞きながら設置をしている。一方で道路上の設置については、事故防止や犯罪捜査に使われることから、警察と協議の上で設置をしている。警察との協議に当たっては、市民からの要望を踏まえ、情報共有しながら設置場所を検討していきたい。

問 本市の防犯対策の具体策、メインは何か伺う。

答 防犯カメラ以外の防犯対策として、市民への周知も必要だと考えている。

例えば、青パトによる市内全域のパトロール、防犯指導員による通学児童の見守り活動なども実施している。7月1日が防犯デーとなっており、毎年7月には旭警察署員を招いて、市民の防犯知識の習得と防犯意識の向上を図るため防犯講演会を開催している。そういったものを総合的に実施し、防犯に努めていきたいと考えている。

定額減税調整給付金の確定に伴い不足額を給付

令和6年度に見込み給付した定額減税調整給付金給付事業について、令和6年度の所得税額や定額減税額が確定し、本来給付すべき額を下回った方に対し、不足額を給付する。

問 具体的な給付対象者を伺う。

答 例としては、退職等により令和5年に比べて令和6年の収入が減少した方や、令和6年中に子どもが生まれるなど扶養親族が増えた方、令和5年は学生で収入がなかったが、令和6年に就職して所得が発生した方、また、個人事業主の事業専従者で令和6年分所得税及び令和6年度住民税所得割が非課税の方などが給付対象となり得る。

問 市内の給付対象者の状況を伺う。

答 給付対象者は5月1日時点で7317人を見込んでいる。

議案
第4号

水道技術管理者等の資格を定める条例2件の一部改正

「旭市が設置する専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例」と「旭市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例」の2件について、関係法令の改正に伴い、所要の改正を行う。

問 専用水道の水道技術管理者、水道の布設工事監督者及び水道技術管理者の具体的な業務内容について伺う。

答 専用水道の水道技術管理者は水道事業と同様に、安全な水の供給に関する技術的な責務を負い、水道施設の維持管理、水質管理、衛生管理、その他水道事業者の職員監督など、安全な水の供給のために必要な事項を監督する。水道の布設工事監督者の具体的な業務は、水道工事の施工における技術的な監督を行い、安全、品質の管理等、法令遵守の徹底、現場の指示、工程や安全管理など工事全体の進捗と品質管理等を監督する。水道の水道技術管理者の具体的な業務は、水道施設が施設基準に適合しているかの検査、水質検査、衛生上の措置、給水停止などの業務を行う。

常任委員会審査Q & A

議案や請願・陳情を分野別に各委員会に振り分け、専門的に審査をします。審査後は、賛成・反対を決め、本会議で報告します。質疑と答弁の要旨の一部は次のとおりです。詳しい内容を知りたい場合は9月中に掲載予定の会議録をご覧ください。



旭市議会
会議録検索システム

建設経済常任委員会

令和7年度旭市一般会計補正予算の議決について(議案第1号)

Q 繰越明許になったことで、購入予定だったパッカー車が担うはずだったごみの収集に対して、影響はないのか。

A 市ではパッカー車1台を所有しており、走行距離は多いが稼働している。新しい車両が来るまでは、現車両で担えるので、業務に影響はない。

Q ごみの収集は基本的に委託していると思うが、市所有のパッカー車はどういう用途に使うのか。

A 公共施設や小・中学校、保育所などの収集をローテーションで行っている。また、各町内の草刈りの草であったり、不法投棄のパトロールで発見したごみなど、そういった物を収集することで、ほぼ毎日出動している状態である。



東総地区グリーンセンターを視察

審査結果

委員会付託の2議案について、全員賛成で原案のとおり可決。

文教福祉常任委員会

審査結果 委員会付託の1議案について、全員賛成で原案のとおり可決。請願3件について、請願第2号、第5号は賛成多数で、請願第3号は全員賛成で採択。 ※議案に対する質疑はありませんでした。

総務常任委員会

令和7年度旭市一般会計補正予算の議決について(議案第1号)

Q 定額減税不足額給付金給付事業の給付のスケジュールは。

A 7月下旬に対象者へ通知を送送する予定。その中で、以前の給付等で口座登録がある方へはその口座へ振り込み確認書を送付。口座登録のない方へは登録手続き後、振り込み予定日のお知らせを送付する。振り込みの開始は8月下旬を予定しており、12月1日の完了を目指したい。

旭市議会議員及び旭市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について(議案第2号)

Q 選挙のビラとポスターの改定単価は何を基準としているのか。

A 3年に一度の参議院議員選挙の年に見直されている国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律、公職選挙法施行令に定める基準に準じて、市も基準額を見直している。



飯岡地域の減災林を視察

審査結果

委員会付託の9議案について、全員賛成で原案のとおり可決、承認。

議会運営委員会視察

5月26～28日 兵庫県西宮市と西脇市を視察

西宮市では議会運営の取り組みについて調査研究を行った。西宮市議会では、答弁者が質問等を行った者に問い直す権利[反問権]と、答弁者が議案の修正等に対し反対又は建設的な意見を述べる権利[反論権]を定めている。実際は反論権による反対意見は少なく、修正案が可決された場合の課題の指摘程度とのことだった。

西脇市では市民参画の取り組みとして課題懇談会や議会報告会といった市民参画に向けた取り組みを多く行っており、議会の見える化について様々な取り組みを行っていた。

今回の視察を通じて、議会機能強化の取り組みや議会改革の取り組みについて、今後の議会運営の参考にしていきたいと感じ、非常に実りのある視察となった。



西脇市で市民参画について伺う

令和7年第2回定例会 審議結果一覧

賛否が分かれた議案等と審議結果

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長
※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			常世田正樹	伊藤春美	菅谷道晴	戸村ひとみ	伊場哲也	崎山華英	永井孝佳	井田孝	島田恒	片桐文夫	遠藤保明	林晴道	宮内保	飯嶋正利	宮澤芳雄	伊藤房代	向後悦世	景山岩三郎	木内欽市	松木源太郎
市長提出議案																						
2	旭市議会議員及び旭市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
請願																						
4	旭市飯岡地区「海岸減災林整備事業」の中止を求める請願	不採択	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	○
5	訪問介護基本報酬の見直し・改善を求める請願	不採択	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	議	○	×	×	○	×	×	○

全員賛成で議決した議案等

- | | |
|--|--|
| 議案1 令和7年度旭市一般会計補正予算の議決について | 議案8 旭市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて |
| 議案3 旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 議案9 専決処分承認について(旭市税条例の一部を改正する条例) |
| 議案4 旭市が設置する専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例及び旭市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 議案10 専決処分承認について(旭市都市計画税条例の一部を改正する条例) |
| 議案5 財産の取得について(救助工作車Ⅱ型 1台) | 議案11 専決処分承認について(旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例) |
| 議案6 財産の取得について(消防救急デジタル無線装置 一式) | |
| 議案7 財産の取得について(旭市消防団車両(小型動力ポンプ付積載車) 2台) | |
| 発議1 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について | 請願2 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願 |
| 発議2 国における2026年度教育予算拡充に関する意見書の提出について | 請願3 「国における2026年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願 |

永年勤続表彰

第101回全国市議会議長会の定期総会で、市議会議員として永く地方自治の伸展に貢献されたことに対し、次の4名の方々が表彰されました。



議員在職30年以上表彰
松木源太郎議員



議員在職15年以上表彰
宮澤芳雄議員



議員在職15年以上表彰
飯嶋正利議員



議員在職15年以上表彰
戸村ひとみ議員

旭市長選挙立候補に伴う議員失職

戸村ひとみ議員が7月13日付で旭市長選挙に立候補したため、失職となりました。

平山清海議員が旭市議会に加入

戸村ひとみ議員の失職に伴い、議員定数に欠員が生じたため、7月21日に平山清海候補が繰り上げ当選しました。

なお、委員会は建設経済常任委員に選任され、任期は前任者の残任期間である令和7年12月31日までとなります。



平山清海議員

繰り上げ当選の経過について

令和3年12月19日に行われた市議会議員選挙において、平山清海候補は当選人と同数の票を獲得しましたが、くじにより落選したため、繰り上げ当選の対象となっていました。

市政を問う!

第2回定例会

一般質問

一般質問とは、本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。旭市のさまざまな課題などについて、市の考えを聞き、説明を求めます。主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。



不妊治療助成について

問 結婚した5組に1組は不妊に悩んでいる。不妊の治療は治療費も高く、途中で諦める方がたくさんいる。本市の補助金は、どうなっているのか伺う。

答 1回当たりの助成額の上限は、3万円から5万円の市町村が多い中、本市では複数の治療を組み合わせて行うことも考慮し、15万円を上限に助成している。

滝郷診療所について

問 昭和46年に現在のところに移転し、当時は珍しい鉄筋の2階建てで、大きなテラスがあり、海上で一番すばらしい建物と言われた。もう建替えの時期はとうに来ている。市の見解を伺う。

答 令和9年度に補修工事を行う予定だが、現状を考慮した検討が必要と考えている。

問 現在勤めている先生が、諸般の事情により辞めるといふ話を聞いた。市は医師確保について、どう考えているのか。

答 医師が都市部に集中し地方では不足している、いわゆる医師の偏在が全国的な問題となっていることから、医師の招聘が容易ではないことが考えられる。

問 簡単に医師は見つからない。診療所は昭和27年開設と、中央病院よりも古い。先生は何人も辞めているが、そのたびに当時の海上町ではできる限りの手だてをして医師の確保をしている。

答 引き続き地域医療の現状と課題に向き合い、多方面の方々の意見を聴きながら、市民が安心して医療を受け続けられるよう、様々な方面から医師の招聘に尽力していきたい。



木内 欽市 議員



昭和46年に建築された滝郷診療所

その他の質問事項

- 市長の政治姿勢について
- 過疎対策について



常世田 正樹 議員



インフラ整備について

問 昭和期に開発された住宅地の道路について、経年劣化

等により破損や陥没が起きている。私道のため行政として対策や処置を行うことができない。私道を市に寄附する際、所有権を確定するために結構な費用がかかる。公図取得費用や裁判所への申立て費用として時間もかかる。寄附する際の条件について、私道を市に寄附することを目的とした所在不明者等の調査について、市が所有者の特定や公図の取り寄せを行うことはできないのか伺う。

答 一件は、道路敷地が市に無償譲渡され、所有権の移転が速やかにできること。幅員が4m以上、舗装や排水施設が整備されていること。行き止まりではなく、起終点が市道や国・県道のいずれかに接続していること等。土地所有者の所在調査や公図の取り寄せは、地権者をお願いしている。

問 井戸野インターチェンジの供用時期は6年後であり、

開通に合わせてインター周辺の開発と整備が想定される。銚子連絡道路ができたからといって人と物が簡単に集まるわけではない。各地域との交流・連携は大事であるが、既に抜き差しならない状況にきている。人口確保、企業誘致、医療体制の充実等々、近隣自治体と足並みをそろえている猶予はない。近隣自治体よりもめきんで、東総地域を牽引していくくらいの意気込みを市長に持ってほしい。インター周辺の開発や未来予想図について、どのような考えやプランがあるのか市長に伺う。

答 旭市までの区間が開通する

こと圏央道なども一体となった首都圏や成田空港など、各地域との交流・連携の促進につながるものと期待している。交通アクセスの向上による観光客や移住者の増加、それに伴う地域の活性化などが見込まれるほか、企業誘致や通勤圏が広がることによる雇用の拡大、また防災機能強化にもつながるなど大きな可能性があるかと考えている。

その他の質問事項

- 明治川の維持管理について
- 青少年の健全育成について

米政策と本市の取り組みについて

問 令和6年の主食用米・飼料用米・ホールクロップサイ

レイジの作付面積と現状を伺う。
※ホールクロップサイレイジ：解説は16ページ。

答 作付面積については、主食用米が2596ha、飼料用

米が715ha、ホールクロップサイレイジ用稲が58haだった。昨年の年明け頃には米価上昇の動きが見られたものの、大きな作付の変化はなく、飼料用米の面積は、対前年10%の減にとどまっている。

問 飼料用米に対する労働力の確保、収益性、栽培技術と

いった農家の課題や懸念点について、具体的に伺う。

答 労働力の確保としてはDX

を進め、AIなどの最先端技術を活用することにより、少ない人数で高い生産性を維持できるようにしていくことが重要であると考えている。また、機械の新規導入に対しては、補助金を活用できる事業が多いものの、単なる更

新では補助対象とならない事業が多く、高額な機械の更新が経営上の課題となっている。引き続き

国・県の補助事業や栽培技術の情報提供、低利な制度資金の活用などについて支援していきたい。

旭駅前開発と整備について

問 駅前の開発や整備についての計画や空き地や共用空間

の利活用の方針があるか伺う。

答 都市計画及び開発計画などはない。第4次定住自立圏

共生ビジョンで、空き店舗利用などによる中心市街地活性化を目的に銀座通り商店街などを利用したイベントやコミュニティ活動などの推進を図ることとしている。

問 駅前のあるべき姿と今後の

取り組みについて、旭駅は市の顔であり、玄関口。将来展望ということで、市長の個人的な希望や期待も含めて見解を伺う。

答 駅前を気取った場所にした

いう強い思いがある。空き店舗利用の支援などを行っていくとともに、官民連携により地域活性化の波が、旭駅周辺にも広がることで、元気やにぎわいが波及していくようなまちづくりを、市民、事業者とともに、取り組んでいく。

QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



崎山 華英 議員



押印見直しとDXの推進について

問 行政手続きの押印見直しはどれくらい進んでいるのか。

答 令和3年度に行った見直しにより、規則等に定めがある様式のうち約70%と、規則等定めがない様式のうち約50%について、押印を廃止した。

問 国の押印見直しマニュアルには認印には本人の認証効果がないとあるが、本市ではいまだに認印による押印が残っている。今後改めて押印の見直しを検討すべきと考えるがどうか。

答 令和3年度の見直しでは、法人の設立登記印、公印、実印、銀行印等の登録印、委任状等の第三者へ依頼する手続き、個人情報等の調査に関する同意書等、契約書、見積書、請求書等の会計手続き、受付印、決裁印等の事務手続きについて、見直しの対象外とした。電子申請なども見据えながら、見直しの必要性を含め、引き続き検討を進める。

子どもが第一に守られる保育環境へ

問 市内の保育施設において、不適切な保育が疑われる事案が発生した際、本市で独自に調査を行い、事実関係を適切に判断し対応する体制は整っているのか。

答 相談や通報を受けた場合には相談者や施設へ聞き取り調査を実施し、対応している。事務職員に対する研修は現在行っていないが、保育士を対象とした研修などを利用し、不適切保育に関する理解を深め、スキルアップに努めていく。

問 担当者によって対応が違ってしまうなど、属人的になることの懸念がある。市として対応ガイドラインをしっかりと作成すべきと考えるがどうか。

答 今年度、国のガイドラインの見直しが予定されているため、新たなガイドラインに沿って市の事務処理マニュアルを整備し、職員の役割分担や対応方法を明確にし、統一的な対応ができるように体制を整えていく。

その他の質問事項

- 審議会委員等で多様な人材を選出するための取組
- 庁舎内販売と地域に開かれた庁舎について

学校再編について

問 海上地域小学校3校の再編に係る代表者会議の現状と予定について伺う。

答 代表者会議は5回開催し、3校の統合については賛成の答申を受けた。統合校の位置については、候補地の嚶鳴小学校と旧海上中学校跡地、どちらも出席委員の3分の2以上の賛成を得られず、承認には至らなかった。今後は、この答申を踏まえ、海上地域小学校の方向性について、代表者会議で引き続き審議していく。

問 (仮称)北統合中学校の再編状況について、候補地と規模、今後の予定を伺う。

答 旭市学校再編基本方針に基づき、第二中学校の学区の一部(琴田・共和地区)と干潟中学校を統合し、新設予定。候補地は旭市学校再編連絡調整会議において検討を行っており、規模は4ha程度を想定している。7月には第二中学校の学区と干潟中学校の学区

区に地域検討会議を設置する方向で準備を進めている。

水道事業について

問 旭市水道事業ビジョン及び旭市水道施設耐震化計画について、今後の方針を伺う。

答 水道事業ビジョン、耐震化計画ともに現在見直し作業を実施している。計画の中で耐震不足とされる旭配水場のポンプなどの更新、各配水場から地域へ送水する基幹管路と重要給水管路の耐震化を優先事項としている。

問 管路の更新と旭配水場のポンプ施設の更新により、末端までの水圧の向上は図られるのか伺う。

答 管路の耐震化にあわせて増径を実施し、またループ管の布設及び配水区域の適正化(自然流下区域の拡大)のための管路の増径も実施することにより、末端水量の増加及び水圧不足の解消を見込んでいる。旭配水場の設備更新により送水圧の向上は見込まれるが、老朽化した末端管路の耐久性が一部懸念されるので慎重に対応していきたい。

その他の質問事項

- 銚子連絡道路の整備について
- 商工業の振興について



井田 孝 議員





戸村 ひとみ 議員



高齢者福祉の充実について

問 高齢者の介護予防や健康維持において、高齢者が家から外に出ることが必要と考える。

答 生活に必要な施設や参加する行事への利便性のため、コミュニティバスを高齢者がより利用しやすくなるようなサービス改善が求められる。ルートの見直し、バス停数の増設、バス停に座って待つところの整備等の検討状況を伺う。

問 運行時間やルートなどの要望に全て応えるのは難しい。バスの利用実績などを踏まえながら適宜見直しを行い、利用者が使いやすい公共交通を目指す。

答 コミュニティバスの無償化の検討状況を伺う。

問 県内でも平均的な運賃であり、軽減制度も設けているので、運行経費の確保、受益者負担の公平性の観点から、運賃の無償化については現在のところ検討していない。

飯岡海岸減災林について

問 東日本大震災直後に決めた海岸減災林の計画。これを、10年以上経って今年度から5か年で実行するに当たり、アンケート調査等で市民意見を集約してから実施すべきと考える。市民への周知、市民意見の集約、パブリックコメントはどのように行ったのか伺う。

答 復興計画策定時には、パブリックコメントを2回実施し、その際には減災林の整備についていろいろな意見をいただいたが、その中では特に整備に反対する意見等はなかった。

問 飯岡海岸減災林の植樹に反対する旨の意見書を、市民の方が市長に直接手渡している。この意見書に対して、市長の見解を伺う。

答 意見書では、植栽の管理や観光地としての景観の在り方など、旭の海を心から思っているということが伝わってきた。様々な意見はあると思うが、海岸減災林は市民の生命・財産を守る防災に関わる事業の一つ。巨大地震の発生も懸念されている中、より災害に強いまちづくりにつなげていきたい。

空き家対策について

問 有効活用が難しい空き家の解体が進まない理由として最も多いのが、解体費用がないという問題。つまり、やりたくてもお金がないというのが実情。解体補助金をもっと受け取りやすくないか伺う。

答 国の空き家対策総合支援事業を使い補助しているのですが、国の定める条件で事務手続きを行っている。使いやすくなるのはよいことだが、手続きについてはご理解いただきたい。

問 所有者がいない物件が火事などで全焼し、解体しなければならぬ場合、市ではどういった対応をしているのかを伺う。

答 まずは消防署と連携して必ず要最低限の措置を行う。そのまま放置すると近隣住民に危険を及ぼす場合は、市が緊急安全措置を行う。その後、場合によっては略式代執行も出来るが、法改正により財産管理制度を市が使える

海業の推進について

ようになったので、こちらを使っていく方向で検討している。

問 海業推進協議会で出た具体的な公民連携の案を伺う。

答 協議会では、飲食施設、直売施設、グランピング施設、朝市、釣堀、養殖など多岐にわたる事業の検討を進めている。

屏風ヶ浦の活用について

問 屏風ヶ浦をグーグルマップで検索すると上永井地区の行き止まりに案内される。看板の設置など対策はできないか伺う。

答 グーグル社には市から改善の依頼をしていきたい。案内看板の設置も検討していく。



「東洋のドーバー」と呼ばれる屏風ヶ浦

その他の質問事項

○飯岡海岸減災林について



永井 孝佳 議員



QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



伊藤 春美 議員



高齢者への終身サポート体制について

問 生前の意思を明確化し、思いが伝わるよう残すエンディングノートの利用促進と保管場所が重要と思うが考えを伺う。

答 エンディングノートは高齢者福祉課窓口への設置、住宅介護支援事業所などを通じての配布に加え、地域ケア会議の中にも引き続き利用促進していきたい。

保管場所については、事前に家族や関係者に知らせておくことや、消防署と共同設置を推奨している緊急医療情報キット、本市が作成した緊急連絡カードとあわせて保管する方法など検討していく。



旭市版
エンディングノート

問 死後事務委任契約と成年後見人制度は、どのような違いがあるのか。

答 死後事務委任契約は、亡くなった後から執行され、病院・施設への支払い、行政手続き、葬祭、納骨、埋葬等の死後の事務を委任する契約。成年後見人制度は、生前に支援が行われ、亡くなると終了する制度で、認知症などにより判断能力が不十分な方が経済的不利益や被害を受けることがないようにするための制度。

大規模災害時の被災者支援の迅速化と効率化について

問 クラウド型被災者支援システムの導入について旭市の考えは。

答 自然災害の多発化・激甚化が進む中で、対応する職員のパワー不足を補うすべとしてシステムが有効であることは認識している。大規模災害は広域で発生することが多いため、統一されたシステムを使用するほうが、被災者支援を迅速かつ確実に行うことが可能にはなるが、費用対効果の面もあるので、他の自治体の状況も見極めながら検討したい。

その他の質問事項

○新総合防災情報システム(SO-BO-WE-B)の活用方法と活用状況について

道路の安全対策について

問 国道126号沿いにあるタイヤ館旭から有限会社あかざ北側交差点までの間、急なカーブがあり、しかもそこは急に道幅が狭くなっているため大変危険な状態。路肩部分には段差があり、自転車等横転しやすい状況。朝夕の登下校時に安心して通学ができないよう歩道整備はできないか伺う。

答 当該道路は歩道を設置しない計画で、幅員7mまで拡幅する事業を進めてきた。しかし、一部区間で地権者の理解が得られず、道路幅が狭いままとなっている。そのため通行しやすいように整備するのは難しい。段差については、現地を確認し、安全対策を検討していきたい。

不妊治療について

問 市では不妊治療に対してどのような制度があるのか。

答 新たに不妊治療を行う夫婦の経済的負担を軽減するための

め、国で認められているが保険の適用とならない先進医療費の7割を助成する。複数の治療を組み合わせて行うことも考慮し、上限は15万円としている。

問 相談窓口は設置されているのか伺う。

答 専門的な相談窓口としては、県で行っている電話やオンラインによる無料相談がある。子ども家庭課では不妊治療を受けるかどうか悩んでいる方の相談についても対応している。

性別を問わない中学校の制服について

問 ジェンダーレスに対応した制服の機能向上と生徒の多様性を尊重するため、性別を問わず制服を選択できないか。

答 自由に制服を選ぶことは出来ないが、機能性や個々の多様性を尊重する観点から、検討することは、各学校の裁量で柔軟に対応している。期間を定めて体操服で過ごすことや、体操服での登下校を認めることによる酷暑への対応、個々の事情に応じてスカートの代わりにスラックスの着用を認めることによる多様性の尊重が各学校で進められている。

その他の質問事項

○熱中症対策について



伊藤 房代 議員





松木 源太郎 議員



第3期旭市総合戦略について

問 合計特殊出生率が基準年1・38、目標年で1・80、

これはどういうことか。

答 政府が目指す国民希望出生率が1・80となっているので、目標値としたもの。

問 今後、年金の給付だけでは生活できない市民が増える

と思われるが、その対策が全くない。社会福祉の充実の具体策は。

答 生活困窮支援の必要性は増加している。本市に無料定額宿泊所のような施設はない。今後の課題としていきたい。

旭市図書館図書館情報システム再構築業務の公募型プロポーザルの実施について

問 システム再構築業務と県立東部図書館の旭市への移譲は関係あるのか。

答 移譲とは関係ない。移譲については、県が今年度中に東部図書館整備計画を策定し、改修工事後に移譲となると思う。

ハラスメント対策は現在どのようになっているのか

問 令和5年6月議会でハラスメント対策について質問したが、その後の経過を伺う。

答 毎年、職層を変えてハラスメント防止研修を開催するほか、東総地区広域市町村圏事務組合などが開催するハラスメント防止研修にも職員を参加させることにより、ハラスメントによる様々なリスクの再認識を促し、ハラスメントの未然防止を図っている。

問 現在ハラスメントは起こっていないか。それだけの対策を作っているか。

答 一番は相談者の主張に真摯に耳を傾け、丁寧に話を聞く、それが一番である。

会計年度任用職員の労働条件はどのようになっているのか

問 今年の3月末に任期が来た会計年度任用職員について、本人が辞めると言っていないのに辞めさせた。この対応について伺う。

答 1月に継続しない旨の申し出を受け、任期満了をもって退職となった。

RSウイルス感染症に関して

問 令和6年3月には、健康な乳児にも使用できるRSウイルス感染症予防薬ベイフォータスが薬事承認された。こうした新たな予防薬の活用に関して、他の事例を踏まえて今後どのような対策を検討しているのか伺う。

答 ベイフォータスは健康な乳児への使用は保険適用外となるため、自己負担が高額になることが課題とされている。国や県の動向、また他市の取り組みを参考にしながら対応を検討していく。

問 須崎市のように接種費用を全額助成する取り組みを導入できれば、乳幼児の重症化リスクの軽減に加えて保護者の経済的負担の軽減につながるかと考えるが、今後の方針について伺う。

答 須崎市では製薬会社の協力により、欧米で保険適用されている水準の価格で薬剤の供給を受けていると伺っている。旭市に対しても同様の内容が製薬会社から示されている。自治体と製薬会社の連携による取り組みは、費用を抑えつつ効果的な感染症対策を進める上で有効な手段であると認識している。国や県の動向を注視するとともに、医師会や旭中央病院の先生方と連携しながら、慎重に対応を検討していく。

学校部活動の地域移行に関して

から示されている。自治体と製薬会社の連携による取り組みは、費用を抑えつつ効果的な感染症対策を進める上で有効な手段であると認識している。国や県の動向を注視するとともに、医師会や旭中央病院の先生方と連携しながら、慎重に対応を検討していく。

問 子どもたちが本当にやりたい活動ができるように、経済負担ができるだけ少なくて済むような体制の構築を行政主導で行うべきである。指導料など新たな費用も予想されるが、学校部活動と変わらない負担で活動できるように、支援をお願いできないか。

答 経済的な理由等から部活動に参加できないケースが出ることは、絶対にあってはならないと考えている。地域移行を進めるに当たり、可能な限り保護者の負担軽減が可能となるよう全力を注いでいく。全ての中学生が目を輝かせて生き生きと活動できる環境づくりを地域の皆様に協力してもらいながら実現したい。

その他の質問事項

○創意工夫による自主財源の確保に関して
○旭市役所の職員に関して



林 晴道 議員



QRコードを読み取ると、質問した議員の録画映像がご覧いただけます。



伊場 哲也 議員



第3期旭市総合戦略について

問 旭市のこれからの5年間、市長のまちづくりへの熱き思いと実現に向けての見解を伺う。

答 地方創生と国土強靱化を柱に、将来都市像を「みんな

で創る未来 ずっと大好きなまち旭へ健康で心豊かな暮らし、ウェルビーイングの向上」として、四つの基本目標に基づき重点的に取り組むべき事業はもとより、SDGsの推進やデジタル技術の活用などの施策にしっかり取り組むことで、市民一人ひとりが健やかに幸せに満ちた暮らしを送ることができるようチーム旭として、市民や事業者の皆さんとも力を合わせながら、本市のさらなる発展に向けて引き続き熱意を持って全力で取り組んでいく。

第3期旭市の教育に関する大綱について

問 教育大綱の理念が現場の教職員や学校運営にどれだけ浸透しているのか伺う。

答 第3期の教育に関する大綱は「郷土 夢 未来」を基本理念に掲げ、令和7年度から11年度までの5年間で期間として本年4月からスタート。年度当初の校長会議において教育大綱の基本理念と五つの基本目標を市長が説明し、教職員に広く浸透するよう強くお願いし、教育長との校長面談や教頭研修会などを通じて、教育大綱の浸透を図っている。

令和7年度学校教育指導の指針について

問 教育大綱と学校教育指導の指針の理念の整合性について伺う。

答 教育大綱の基本目標4は、生涯学習社会の実現に向けた目標であり、指導の指針の中でもバランスよく取り入れ、授業や学校行事を通して育成するものと捉えている。

問 学校教育指導の指針におけるウェルビーイングの向上についての見解を伺う。

答 学校教育指導の指針では、教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上を目指し、教職員や子どもたちが理解しやすい言葉で表現している。指針の改訂に合わせウェルビーイングの文言を載せることを検討していく。

中学校の部活動地域移行について

問 地域移行は何年からか伺う。

答 令和6年度から旭市部活動地域移行推進協議会を設置し、令和8年度中の移行を目指して準備を進めている。

問 モデル事業以外の部活動については、どのように進めていくのか伺う。

答 モデル事業から得た成果と課題を踏まえ、部活動に所属している生徒たちが休日に、希望する部活動ができるよう検討を進めている。

問 地域移行に当たって、現時点での問題点を伺う。

答 指導者の確保、生徒や保護者への周知、会費の負担や指導者への報酬などについて、今後の課題と捉えている。また、生徒や保護者のアンケートからは、これまでどおり部活動顧問からの指導を望む声も多くある。そのため兼職、兼業を希望する先生方の

力を借り、地域の優れた指導者と連携を図り地域移行に取り組んでいきたいと考えている。

令和4年度の上水道課の業務について

問 上下水道課では、令和4年度から利用者の利便性の向上と事務経費削減のため、料金と使用料を一括して請求する方式に変更した。しかし、1か月業務開始が遅れ、市からの支出があった。旭市が業者と交わした、仕様書や契約書には全く不備はなく、落札業者に業務の遅延が生じても、そこに市が介入して275万1738円の支出をしたのは間違い。上下水道課は一貫してデータ抽出作業は無償だと主張していたこと、全く矛盾している。このことはしっかりとした検証を行ってほしい。電算システムを落札した業者が11月1日に業務開始できなかった理由を伺う。

答 前任業者と市との間でデータ抽出作業に関わる契約書の解釈に見解の相違(有償か、無償か)があり、市から後任業者へのデータ提供が遅れ、業務が開始できなかった。

その他の質問事項

○避難所となる学校体育館の空調設備について



宮澤 芳雄 議員



米本弥一郎市長 2期目がスタート

8月8日に令和7年第1回臨時会が開かれました。この臨時会には、旭市教育委員会委員の任命と旭市監査委員の選任の2議案が市長より提出され、どちらも全員賛成で原案のとおり同意されました。



QRコードを読み取ると臨時会の録画映像をご覧ください。



登壇して挨拶をする米本弥一郎市長

市民の皆様と「チーム旭でまちづくり」に、取り組んでまいります。

現委員のうち1名の任期が8月17日を選任した委員1名の任期が8月17日を

議案第2号
旭市監査委員の選任

再任 鈴木 典男氏(三川)

現委員のうち1名の任期が8月18日をもって満了となるため、後任の委員を任命するにあたり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定により、議会の同意を求める。

議案第1号
旭市教育委員会委員の任命

議席の指定
伊場哲也議員が議席番号4番に変更され、平山清海議員が議席番号5番に指定されました。

委員会の選任
平山清海議員が建設経済常任委員に選任され、井田孝議員が議会だより編集委員に選任されました。

再任 木村 哲三氏(八)

もって満了となるため、後任の委員を選任するにあたり、地方自治法第196条第1項の規定により、議会の同意を求める。

令和7年第1回臨時会 審議結果一覧

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 議=議長
※議長は採決に加わりません。

議案番号	件名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			常世田正樹	伊藤春美	菅谷道晴	伊場哲也	平山清海	崎山華英	永井孝佳	井田孝	島田恒	片桐文夫	遠藤保明	林晴道	宮内保	飯嶋正利	宮澤芳雄	伊藤房代	向後悦世	景山岩三郎	木内欽市	松本源太郎
市長提出議案																						
1	旭市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○
2	旭市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○

あさピーが解説

気になるあの用語



本紙で気になった用語を解説するよ！

Q ホールクロップサイレージってな～に？

掲載は9ページ

A 家畜、特に牛に与える貯蔵飼料の一種。飼料作物を密封し、乳酸菌の働きで発酵させた貯蔵飼料をサイレージと呼び、穀実と茎葉を一緒に発酵させるサイレージをホールクロップサイレージと呼ぶ。また、稲のホールクロップサイレージは稲発酵粗飼料と呼ばれ、稲の米粒が完熟する前(糊熟期～黄熟期)に穂と茎を同時に刈り取りサイレージ化する。



稲のホールクロップサイレージ

Q クラウド型被災者支援システムってな～に？

掲載は12ページ

A 内閣府が設計、開発したサービスで、災害対策基本法の運用に則った被災者台帳関連業務を一元管理するもの。避難所の業務の効率化や迅速な被災者台帳の作成などの業務の効率化、マイナンバーカードを活用し、自宅や遠隔地から被災者支援手続きのオンライン申請やコンビニでの罹災証明書の交付など、被災者の利便性も向上するシステム。



9

月定例会の予定

(9月2日～9月29日)

日	月	火	水	木	金	土
8/31	1	2	3	4	5	6
		開会				
7	8	9	10	11	12	13
議案質疑			一般質問	一般質問	一般質問(予備日)	
14	15	16	17	18	19	20
		決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	建設経済常任委員会	
21	22	23	24	25	26	27
	文教福祉常任委員会		総務常任委員会			
28	29	30	10/1	2	3	4
	閉会					

いずれも10時から開催予定です。

日程は変更となる場合もありますので、ホームページ等でご確認ください。

第4回定例会は11月に開催します

12月21日に旭市議会議員一般選挙が予定されているため、今年の第4回定例会は11月に開催します。

日程が決まり次第ホームページでお知らせいたします。

議会中継をご覧ください

本会議は、インターネットで生中継と録画配信(過去5年分)を行っています。パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。ぜひご覧ください。



編集後記

旭市は今年、市制施行20年を迎えました。これまで旭市が歩んできた歴史を思うと同時に、20年前自分が高校生だった頃を思い出します。

当時の私は、議会のことをほとんど知りませんでした。興味もなければ、触れる機会もなく、政治家はテレビの向こうの遠い人でした。

今、議会の一員として思うのは、もったときちんと知っていたら、ということ。

そんなきっかけの一つとして、議会だよりがあると思います。

遠いと思っていた政治が実は自分の暮らしに通じる身近なものであることをお伝えできるような、手に取ってもらいやすい、分かりやすい内容を目指して、これからも工夫を重ねていきます。

誰かの「知るきっかけ」になれたら嬉しいです。

(委員 崎山華英)

旭市議会だより編集委員会

委員長 島田 恒

副委員長 常世田正樹

委員 井田 孝

委員 崎山 華英